

星獣戦隊ギンガマン (1998～1999)

メディア TV

ジャンル 特撮 ヒーロー

製作国 日本

色彩 Color

1998/02/22 ~ 1999/02/14

TV放映

日曜日

07:30~08:00

テレビ朝日

【解説】

かつて魔獣ダイタニクスを駆り銀河の星々を滅ぼしてきた宇宙海賊バルバンの復活に備え、ギンガの森では5人の戦士が代々星獣剣を受け継いできた。第133代目の戦士はリョウマの兄ヒュウガを始めとする5人の若者たち。しかし、封印の解けたバルバンは三千年前の戦士の子孫であるヒュウガ達を襲い、ヒュウガはリョウマの目の前で地割れに呑み込まれてしまう。ヒュウガから星獣剣を託されたリョウマは、深い怒りと悲しみの中で己の中の真のアースの力に目醒める。ギンガブレスを手にしたリョウマ、ハヤテ、ゴウキ、ヒカル、サヤの5人は銀河戦士・ギンガマンに転生！ 銀河の守護者・星獣と力を合わせ、未だに封印の解けぬダイタニクスの復活を目論むバルバンに敢然と立ち向かっていく。今、新たなる伝説が始まったのだ。次々と襲い来るバルバンの4軍団、そしてバルバンへの復讐を誓う黒騎士ブルブラックの登場により戦いは三つ巴の様相を呈しつつ、さらに激しさを増していくのであった。

結界に守られた隠れ里、伝説に従い生きる戦士の一族、妖精ボックと知恵の樹モークなどのファンタジー色豊かな設定は、前作『電磁戦隊メガレンジャー』から世界観を一変することに効果を発揮しただけでなく、人物描写やストーリー展開にも説得力を与えており、常に違和感を感じさせた過去の作品とは一線を画している。十分に練られたストーリー、敵味方共に細やかに表現された人物描写、獣をイメージした個性的なアクション、従来以上に質感を大切にした特撮、切れの良い音楽、これら全ての相乗効果によりここ数年で最もハイレベルな作品に仕上がっている。不思議と耳に馴染む希砂未竜の歌声も必聴！

【クレジット】

監督	田崎竜太 辻野正人 長石多可男 小中肇 諸田敏	
アクション監督	竹田道弘 新堀和男	(ジャパンアクションクラブ) (ジャパンアクションクラブ)
プロデューサー	太田賢司 高寺成紀 矢田晃一	(テレビ朝日) (東映) (東映エージェンシー)
原作	八手三郎	
脚本	小林靖子 武上純希 荒川稔久	

	きだつよし		
キャラクターデザイン	野崎明		
	阿部統		
	下条美治		
	頼兼和男		
CG	稔橋尚文		(特撮研究所)
撮影	いのくままさお		
特撮監督	佛田洋		
視覚効果	沖満		(日本映像クリエイティブ)
美術	山下宏		
造型	レインボー造型企画		
	前澤範		
編集	洲崎千恵子		
音響効果	大泉音映		
音楽	佐橋俊彦		
アクション	高岩成二		
	岡元次郎		
	竹内康博		
	蜂須賀祐一		
	中川素州		
	大藤直樹		
	石垣広文		
	蜂須賀昭二		
	福沢博文		
	藤田健次郎		
イラスト	野口竜		
特技・操演	鈴木昶		(特撮研究所)
	中山亨		(特撮研究所)
	高橋政千		(特撮研究所)
特技・美術	竹内俊介		(特撮研究所)
ナレーター	若本規夫		
出演	前原一輝	Kazuki Maehara	リョウマ／ギンガレッド
	末吉宏司		ハヤテ／ギンガグリーン
	照英		ゴウキ／ギンガブルー
	高橋伸顕		ヒカル／ギンガイエロー
	宮澤寿梨		サヤ／ギンガピンク
	有川博		オーギ
	小川輝晃		ヒュウガ (リョウマの兄)
	高杢禎彦		青山晴彦
	早川翔吾		青山勇太
	水谷ケイ		操蛇シェリンダ
声の出演	柴田秀勝		ゼイハブ船長の声
	茶風林		ブクラテスの声

深雪さなえ
檜山修之
林一夫
高島雅羅
渡部猛
納谷六朗
落合弘治
塩沢兼人

ボックの声
銃頭サンバッシュの声
剣将ブドーの声
妖帝イリエスの声
破王バットバスの声
モークの声
黒騎士ブルブラックの声
ビネズラの声